

瀬部小だより 12月号

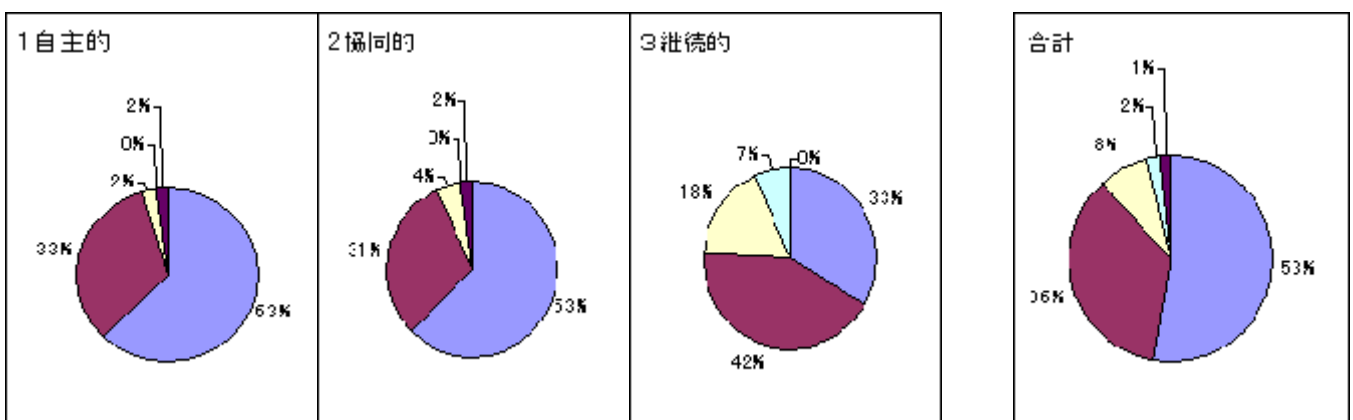
平成18年11月27日



1 学習発表会(11月19日)の保護者のアンケート結果

11月19日(日)には、多くの地域の方々・保護者の皆さんの参観を得て盛大に学習発表会を開催することができました。心よりお礼申し上げます。

さて、今年度の現職教育のねらいである「1自主的な学び」「2協同的な学び」「3継続的な学び」の3つの学びが「総合的学習発表会」で発揮されていたかのアンケートをとりました。参観の45人の方から回答を得ました。その結果をご紹介します。



上のグラフからわかるように、「1自主的な学び」「2協同的な学び」はなされていたと手ごたえを感じられています。家庭や地域における「3継続的な学び」があるかは、今後の課題ですので、ともどもに子どもたちを励ましてまいりたいと思います。なお、グラフの割合は、時計回りに「よい」「まあまあ」「あまりない」「よくない」「無回答」の順になっています。

「その他」では、次のようなご意見をいただきました。なお、ご意見については、原文のままではありません。まとめたり意をくんで載せたりしてありますのでご容赦ください。

- ・子どものあいさつはとてうれしかった。
- ・子どもの活躍する場が多かった。
- ・一人でまわっている子にも優しくできた。
- ・子ども同士が交流でき、生き生きしている。
- ・元気な声で発表していた。
- ・子どもたちの頑張りが見られた。
- ・毎年楽しみである。
- ・我が子ながら感動した。
- ・仲良く楽しそうに活動していた。



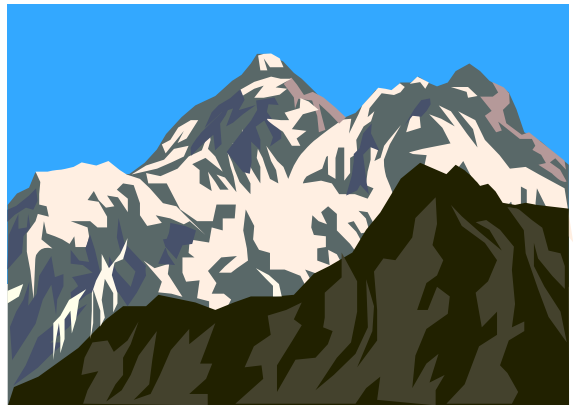
- ・1年は、長いせりふをよく覚えていた。
- ・7ヶ月でりっぱな発表ができ驚いた。さらに様々なことに興味を持つ子どもに。
- ・2年の発表や準備に感心。
- ・屋運のおもちゃは楽しい。毎年、違った発想や工夫に驚いた。
- ・4年はよく調べ発表していた。ポスター・紙すきも素敵。みんなで協力したい発表だった。
- ・4年はグループ別の発表でよかった。
- ・6年の各国ゲーム体験はよい発表
- ・廊下歩行は課題。保護者も廊下歩行の徹底を。
- ・周囲がざわつき聞こえにくい。拡声器等の利用も必要か。
- ・毎年同じで飽きたかも。
- ・もっと子どもたちの色(個性)のある取り組みも。
- ・緊張のためか、早口だったり、声が小さい場合もあった。伝え聞かせる工夫を。
- ・4年は体験で交流できたが、テーマごとのグループ発表はどうか。食育の発表もあると。
- ・6年は遊びとともに調べたことを発表できるとよい。
- ・兄弟同時発表は、何とかならないか。すべて昔のように屋運での発表ではどうか。
- ・子どもが発表しているときの教師支援のあり方に留意を。



2 子どもの心に安心感を

子どもたちは、毎日学校に通っています。まったくなんでもないような行為なのですが、保護者の皆様の温かい支援があればこそと思っております。子どもたちは、誰かが期待してくれている、待っていてくれるからこそ、登校できるのです。

テレビのクイズ番組によく登場される登山家の野口健さんは、両親の離婚の影響もあってか、昔は不良のレッテルをはられ、落ちこぼれだったといえます。しかし、父親と学校の校長先生の全幅の信頼によって、野口さんは蘇生します。その結果、エベレスト登頂を成功させます。今では、富士山の環境問題に目を向けて、登山者のゴミ問題に取り組んでみえます。



野口さんの父親は「(人生に)道はいっぱいある。大事なことは、自分がしたいことをして満足できるかなんだ。」と言います。今、子どもが課題を抱えていようと、子どもへの信頼に満ちた愛情があれば、子どもを成長させるのだなとつくづく感じます。

3 第4回ホームページ大賞で経済産業大臣賞を受賞

瀬部小のホームページへの応援ありがとうございました。今後ともよろしく願います。